Ⅱ　事　業

１　林木育種事業

（１）採種園、採穂園管理事業

ア　目的

当センターが管理する５つの採種穂園の管理を行う。

イ　実施内容　以下のとおり

作業内容	種類	圃場名	実績
下刈	スギ・クロマツ採種園	センター圃場	1.22ha
	スギ・ヒノキ採種園	大信圃場	1.35ha
	スギ採穂園	会津圃場	0.26ha
	スギ採種園	地蔵山圃場	0.51ha
消毒	スギ・クロマツ採種園	センター圃場	457 本
	スギ・ヒノキ採種園	大信圃場	222 本
	スギ採種園	地蔵山圃場	172 本
施肥	ヒノキ採種園	大信圃場	364 本
	スギ採種園	地蔵山圃場	113 本
整枝剪定	スギ・ヒノキ採種園	大信圃場	111 本
	スギ採穂園	会津圃場	109 本
	スギ採種園	地蔵山圃場	86 本
断幹	スギ採穂園	会津圃場	109 本
ジベレリン処理	スギ・ヒノキ採種園	大信圃場	575 本
	スギ採種園	地蔵山圃場	226 本
一般管理	境界等刈払い	新地圃場	1.0 式
	管理道刈払い	大信圃場	1.0 式
	管理道・境界刈払い	会津・地蔵山圃場	1.0 式

（２）種子採種事業

ア　目的

指定母樹林からスギ、ヒノキ等の種子を採取し、苗木生産事業者に供給する。

イ　実施内容　以下のとおり

種類	圃場名	実績
スギ（特定母樹）	センター圃場	21.5kg
スギ（少花粉）	センター圃場	20.0kg
スギ（少花粉）	地蔵山圃場	0.9kg
スギ（普通）	地蔵山圃場	3.0kg
ヒノキ（普通）	大信圃場	3.0kg
クロマツ（抵抗性）	センター圃場	1.0kg

２　関連調査事業

（１）松くい虫特別防除に伴う薬剤安全確認調査

事業目的等
ア　目的 松くい虫特別防除の適正かつ円滑な推進に資することを目的とし、実施に伴う植生、昆虫類、土壌環境に及ぼす影響を調査する。 イ　実施内容 白河市菅生舘地内（南湖公園）において、空中散布実施区域内外に調査区を設け、令和７年６月～９月にかけて、下記の調査を行った。 （ア）林木及び下層植生への影響調査　　１ヵ所　３回 （イ）森林昆虫類への影響調査 ・昆虫相及び生息密度の変動状況調査　12ヵ所　５回 ・斃死昆虫類調査　12ヵ所　２回 （ウ）環境土壌調査　　６ヵ所　４回

（２）森林内における放射性物質実態把握調査事業

（（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所の委託事業）

事業目的等
ア　目的 森林生態系内における放射性セシウムの動態を明らかにすることを目的とした本林野事業に参加し、萌芽更新した落葉広葉樹の放射性セシウム濃度調査を担当する。 イ　実施内容 福島第一原発から西方約 30km に位置する事故直後に萌芽更新し 14 年を経過した落葉広葉樹林において、コナラ、クヌギの樹皮部と材部を採取し、試料調整後に（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所で放射性セシウム濃度を測定し、結果に基づき林野事業への報告書を作成した。

（３）きのこ生産資材の放射性物質測定

事業目的等
ア　目的 放射性物質による本県農林水産物への影響の把握と安全性を確認する。 イ　実施内容 山菜、きのこ、樹実類、きのこ生産資材（原木、ほだ木、菌床、培地等）、その他林産物の放射性セシウム濃度測定を行った。 ウ　検査件数　1,759 検体

（4）マツノマダラカミキリ発生予察調査

事業目的等
ア　目的 　松くい虫防除事業の実施適期検討の参考とするため、林内におけるマツノマダラカミキリ成虫の発生期の推定を行う。 イ　実施内容 　松くい虫被害材からのマツノマダラカミキリの羽化脱出時期と有効積算温度（日平均気温から発生零点（12℃と想定）を差し引いた温度の積算)との関係を調査した。 　林業研究センターのアカマツ林内に設置した網室において 18 個体の羽化脱出が確認され、羽化脱出日の初発日は６月 24 日（※１月からの有効積算温度 430.7℃)、50%脱出日が７月３日（同 551.6℃）。初発日は昨年度と比べ９日早かった。

（5）里山林保全対策事業

事業目的等
ア　ニホンジカによる造林木の食害被害 （ア）目的 　本県におけるニホンジカの生息域は、南会津地域から拡大しており、奥羽山脈でも広く確認されている。現時点で森林被害は少ないものの、今後生息密度が上昇し被害が拡大する恐れがある。各農林事務所における森林被害の情報は森林保全課に集約されることから、報告のあったもののうち、ニホンジカによると思われる被害発生箇所について当センターが現地調査を行い、加害動物等を特定し、県内におけるニホンジカによる森林被害の実態を明らかにする。 （イ）実施内容 　調査日時：　令和 7 年 11 月 28 日（金）、12 月 23 日（火） 　調査場所：　二本松市沢松倉１番地 　対象林況：　カラマツ２年生林（平均樹高 0.8m 程度） 　調査結果：　食害痕の形状及びセンサーカメラの映像から、カモシカまたはニホンジカによる被害であると考えられた。

3　管理事業

（1）センター管理業務

実施内容
林業研究センター内や土地所有境界における風倒木の整理、下刈り等の管理作業を行った。

（2）試験林指導管理業務

実施内容
林業研究センター本所試験林内における枯損木・危険木の伐採事業を実施した。

（3）松くい虫防除（地上散布）事業

実施内容	
ア　散布実施日	令和7年6月18日
イ　散布場所	林業研究センター内
イ　散布実施面積	1.62ha
ウ　使用薬剤・機材	ｴｺﾜﾝ3ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(ﾁｱｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ3%) 200倍希釈、送風噴霧式地上散布機

（4）福島県林業研究センターきのこ実証検定棟管理委託

実施内容		
鉄骨一部木造平屋建		745.68 ㎡
土地	庁舎敷地・宅地	7,179.13 ㎡
電気設備	受変電設備外関係機器等	1式
空調設備	空調換気関係設備機器等	1式
給排水設備	給排水関係設備等	1式
し尿浄化槽設備	し尿浄化槽設備関係機器設備等	1式

（５）木材試験研究施設管理

下記の施設・機械等について、試験研究のための管理運営を行った。

ア　木材加工室

（ア）施設の概要

木材加工室	102 ㎡
木材人工乾燥室	28 ㎡
木材強度実験室	20 ㎡
その他	20 ㎡
計	170 ㎡

（イ）主要機械の概要

機械名	機械の概要
木材乾燥装置	2.0 ㎥入　（IF 型蒸気式）
木材強度試験機	最大能力５ｔ（森ＭＬＷ型）
丸のこ昇降盤	使用のこ径　355mm
ロールコータ	有効塗装幅　600mm、有効材厚　60mm
スプレーガン式塗装装置	バッフルブース　1,500mm 幅

イ　木材試験棟

（ア）施設の概要

木材性能測定室	240 ㎡
地域木造展示室	160 ㎡
計	400 ㎡

（イ）主要機械の概要

機械名	機械の概要
実大強度試験機	最大曲げスパン 12m 容量 100ｔ（圧縮）、50ｔ（曲げ・引張）
耐力壁面内せん断試験機	容量 10ｔ 最大壁寸法　W3,600×H2,700mm
グレーディングマシン	５段階等級区分 最大材料寸法 40×250mm

機械名	機械の概要
フォークリフト	容量 2.5ｔ（ディーゼル式　揚高 3,000㎜）
ウエザーメーター	サンシャイン・キセノン兼用型 温度範囲 12～80℃
木材人工乾燥装置	容量 10 石　IF 型蒸気式（高温タイプ）
分光式測色計	測定波長 380～780nm
赤外線画像装置	測定温度範囲－20～300℃
木材万能試験機	容量 10ｔ　JIS 対応治具類付属
ﾏｲｸﾛ波透過型木材水分型	測定可能材厚　120㎜
摩耗試験機	テーバー式　フローリング JAS 対応
ﾃﾞｭﾎﾟﾝ衝撃試験機	重錘 300、500、1,000g 落下高さ 50～500㎜
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾏｲｸﾛｽｺｰﾌﾟ	ズームレンズ 25 倍～800 倍
表面粗さ測定装置	測定分解能 10 ｎｍ（測定範囲 800μｍ時）
木材成分分析装置	木材成分分析用 オートインジェクター付属
木材劣化診断ｼｽﾃﾑ	超音波測定機 （マイクロプローブ、ピロディン付属）
小型恒温恒湿器	温度 10～100℃　湿度 30～98% RH
多点式温湿度計測システム	温湿度データロガー最大 32ＣＨ
変位計測装置	データロガー10ＣＨ、専用ソフト付属
光沢計	ハンディタイプ、 測定角度 20°、65°、80°
高温用重量モニタリングシステム	測定温度範囲～140℃

ウ　木材加工棟

（ア）施設の概要

木材加工室	765 ㎡

（イ）主機械の概要

機械名	機械の概要
送材車付き帯のこ盤	車上操作式　鋸車径 1,100㎜ 最大原木長さ６ｍ　挽き材最大径 760㎜
クロスカットソー	丸のこ径 660㎜ 切断可能寸法 150×720㎜～240×410㎜
テーブル帯のこ盤	鋸車径 800㎜ テーブル寸法 690×790㎜
鋸軸傾斜丸のこ昇降盤	丸のこ径 405㎜　傾斜 45°
手押しかんな盤	有効切削幅 300㎜
インサイジングマシン	４軸式　最大加工寸法 150×150㎜ 送り速度 24m/min
真空・加圧含浸装置	タンク容量 800L 爆砕装置付小型タンク 29L 耐圧 20kg/㎠
自動一面かんな盤	定盤固定式　最大加工寸法 幅 500×厚さ 400㎜
フィンガージョインター	最大加工寸法 250×110㎜　最大圧締力 10ｔ
６軸モルダー	最大加工寸法 230×160㎜ カッター８種類付属
コールドプレス	集成材用プレス：下圧盤寸法 210×6,100㎜ 最大圧締力 180ｔ 幅はぎ用プレス：圧締厚さ 15～100㎜ ３×８尺まで対応
パネルソー	切削長さ 2,450㎜ ８尺フラッシュ定規付き
熱ロールプレス	ロール径 400、300㎜ 最大加工幅 300㎜
ワイドベルトサンダー	最大加工幅 650㎜　厚み規制可能
試験体用ﾎｯﾄﾌﾟﾚｽ	熱盤寸法 300×300㎜　最高温度 300℃

機械名	機械の概要
粉砕機	ボード・柱材対応　処理能力 300kg/ｈ
木材真空熱処理装置	最高温度 250℃　容積 216 ﾘｯﾄﾙ
水蒸気発生装置	最高温度 250℃、最高仕様圧力 4.5MPa

４　その他事業

（１）事業名：花粉の少ない森林づくり事業

事業目的等
ア　花粉の少ない森林づくり推進事業 （ア）目的 花粉症対策品種等の苗木を育成する。育成した苗木は植樹祭等の住民参加型の森林づくりに供給する。 （イ）実施内容 a　苗木育成（挿し付け）　3,400 本 b　花粉症対策品種苗木の供給　500 本 c　実証展示林育成管理　２箇所 d　採種園造成　１箇所 イ　花粉症対策品種等種子確保対策事業 （ア）目的 高品質な苗木の安定供給のために、花粉症対策品種の人工交配や採種園におけるカメムシ対策、採種園の造成・改良を行う。 （イ）実施内容 a　人工交配（着花促進）　430 本 b　カメムシ防除対策　620 袋 c　採種園造成用苗木育成　287 本 d　採種園の管理　下刈 1.61ha、施肥 1,508 本

（２）森林とのきずな事業（森林環境情報発信事業）

事業目的等
ア　目的 森林環境に関する情報の収集（現地調査）と発信（報告）を行う。 イ　事業内容 ふくしまの森林に対する県民の関心と理解を拡大するため、本県の森林・林業に関する情報提供等を行った。